

令和3年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
1-1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	①情報の収集・調査分析	a.国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と調査・分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各機関から収集した重点情報について医師会全体で共有し、対応（方針）を検討する 【統括部】 1.診療報酬の改定情報を注視し、早期に対策を検討する 2.介護報酬の改定（令和3年）、益田市介護保険事業計画（令和3年度）えっとまめなプランについての情報を収集し必要な対応等を検討する	1.診療報酬改定（令和4-6年度） 2.介護報酬改定（令和3-6年度） 3.第8次医療計画（島根県地域医療構想の見直し） 4.第8期益田市介護保険事業計画（令和3年度えっとまめなプラン） 5.働き方改革への対応（医師：令和4年）	1.第8期益田市介護保険事業計画（えっとまめなプラン）の内容の検証 2.令和3年介護報酬改定内容の検証
		b.情報の集約、分析を中心となって担う体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.情報管理室の活用方法の検討 2.総務課内に情報管理室担当者を配置し、後進の育成、組織化を目指す 2.医療センター内各部のスムーズな情報交換の方法を検討 3.医療センター内にある情報の把握（各システムで把握可能な情報） 4.現情報発信状況の再確認・確実化	
	②少子高齢化社会に対応した医師会独自の地域医療・介護の体制づくり ・「地域包括ケアシステム」の推進 ・地域完結型社会の構築 ・地域医療、在宅医療への新たな対応	a.地域のニーズの把握	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.社会構造の変化に伴う地域のニーズについて、圏域内の諸会議を通じて把握・共有する 【統括部】 1.統括部の各事業所から現場意見を集約し、ニーズを把握する 2.地域の関連事業所、地域住民のニーズを収集する		
		b.先進事例等の調査と検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.統括部とともに先進事例等を調査し、地域の医療介護に資する新たな取り組みについて検討する 【統括部】 1.先進事例の情報収集をする		
		c.会員との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努める 【統括部】 1.会員訪問の継続実施 2.医療連携推進コーディネーター事業を活用した取り組みを実施する		
		d.行政等との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.行政等との連携を密にし、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応を行う 【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター事業、圏域課題解決推進事業、在宅医療介護連携推進事業において、保健所、圏域市町との連携し、		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
						効果的に進める		
		e.医師会独自の「医療・介護推進プロジェクト」の推進 ・益田市との意見交換 ・医師会の役割(方針)検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.「地域医療介護連携統括部」を核とした「医療・介護推進プロジェクト」を重点的に推進する 【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター事業、圏域課題解決推進事業、在宅医療介護連携推進事業において、保健所、圏域市町との連携し、効果的に進める 2.統括部の各事業所から現場意見を集約する		
		f.地域内完結率の向上	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.統括部・病院事業部と協力し、かかりつけ医との連携強化を図る(在宅療養後方支援病院の円滑運用) 2.各種補助事業等を活用し近隣病院・介護事業所との連携強化を図る(連携会議や定期施設訪問、各種研修会等の実施による連携強化) 【統括部】 1.透析・ターミナル・呼吸器管理・補液のみの患者などを積極的に受入れる 2.他圏域の患者の受入れ数の検討する		
		g.在宅医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.在宅療養後方支援病院の活用を推進する 2.医療連携コーディネーター事業により、訪問診療維持のための新たな仕組み等について検討する 【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の登録者を増やす 2.在宅医との意見交換会で、在宅看取り代診医システムについて検討する 3.統括部の各事業所から現場意見を集約する	1.在宅酸素療法患者の情報収集の検討	
		h.へき地医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.へき地での医療拠点確保や中山間地域の交通手段の確保、通院困難者に対する巡回型診療体制等、将来に向けた総合的な課題・施策について検討する		
		i.地域密着型サービスや在宅入居への業務進出の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.他法人の地域密着型サービスや住宅入居等の情報収集を行い地域ニーズを把握する 【統括部】 1.統括部の各事業所から現場意見を集約する 2.医療近接型住まい、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護など設置の検討 3.老人福祉施設の設置方法を探る		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
		j.医療度の高い利用者の在宅支援	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.統括部の各事業所から現場意見を集約する 2.在宅療養後方支援病院の活用を進める 3.退院後訪問の充実 4.訪問看護の活用を推進するための働きかけをする		【くにさき苑】 1.特定看護師を含めた多職種協働によりケアの質向上を図り在宅復帰、在宅生活支援を推進する 【訪問看護】 1.病院との連携方法を検討
		k.医療と介護の地域連携システムの導入と運用	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター事業、圏域課題解決推進事業で、情報共有ツールを検討 2.地域連携室・包括・居宅介護支援事業所の連携強化(医療介護連携統括部の管理権限強化、医療・介護連携委員会の機能増強)		
		l.在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市や保健所と協議しながら、円滑に事業を進める 2.在宅医療・介護連携推進協議会で、実施事業の報告と課題解決を図る		
2 医療機能再編への対応			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
2-1 地域医療構想 応じた医療機能 再編に必要な対策 の検討と推進	①「地域医療構想」への 対応	a.「地域医療構想」の検証と対応検討 ・情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き情報収集に努め、圏域保健医療対策会議等を通じて圏域内の意見調整を図りながら、医師会としての対応方針について検討を継続する	1.「地域医療構想」について、病院としての対応について検討する ・地域包括ケア病棟の更なる活用を考え病棟の配置転換を検討	
		b.病床機能の検証 ・必要な病床機能の検討 ・地域外流出実態の調査	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各事業部・統括部と協働し、患者動態や在宅復帰の状況等のデータを蓄積し、病床再編計画による病床機能・病床数について引き続き分析・検討する 【統括部】 1.退院患者動向、退院困難事例の把握 2.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握 3.当該医療機関との情報交換のシステム作り(状況確認) 4.慢性期病床待機者の把握と当該医療機関訪問。	1.病床機能再編に備えたデータを蓄積する 2.患者・利用者の流れ(Patient Client Flow Management)の確立 3.当院で可能な病棟機能の検討・明確化 ・地域包括ケア病棟の更なる活用を考え病棟の配置転換を検討している	
	②他医療機関との連携と 役割分担の検討	a.医療センター内での各病棟・施設との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会の活用 2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討	1.Patient Client Flow Management(以下、PCFM)の確立 2.職員に向け、各病棟の役割への理解を深める	
		b.圏域内の他医療機関との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携実務者会議の継続実施 2.益田赤十字病院・地域連携担当者意見交換会再開 3.在宅医療・介護連携推進のための多職種研	1.他病院との会議等で連携を深め役割分担について引き続き検討する	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
						修会の継続実施		
	③病床機能ごとの運営方針の検討と策定 ・急性期機能 ・回復期機能 ・慢性期機能	a.急性期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在院日数、看護必要度、選定療養費など管理の徹底により受入れ、回転などの促進を図る	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.急性期機能の在り方について検討する 3.公的病院等 2025 プランにて計画化する 4.4 階病棟の在り方と PCFM の確立 5.看護師不足の中、急性期機能の患者数に左右されない体制構築を検討する	
		b.回復期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.回復期リハビリ病棟の入院料 I 取得	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.回復期機能の在り方について検討する 3.公的病院等 2025 プランにて計画化する 4.地域包括ケア病棟の在り方と PCFM の確立 5.回復期リハ病棟の在り方と PCFM の確立 6.地域包括ケア病棟の更なる活用を考え病棟の配置転換を検討	
		c.慢性期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療療養病棟入院基本料 I 堅持 2.特殊疾患病棟病床数検討	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.慢性期機能の在り方について検討する 3.公的病院等 2025 プランにて計画化する 4.医療療養病棟の在り方と PCFM の確立 5.特殊疾患病棟の在り方と PCFM の確立 6.医療療養病棟の医療度確保に向けて、統括部・病棟師長・主任・医事課で連携して進める	
2-2 地域医療構想に応じた介護機能の対応策の検討と推進	①他介護施設との連携と役割分担の検討	a.医療センター内での各病棟・施設との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会の活用 2.各施設訪問にてニーズの見極め、住み分けの検討	1.目的・役割・理念の明文化及び浸透 2.次工程の明確化（PCFM の確立、患者・利用者をつなぐ・受け取る） 3.各病棟の管理職体制を見直し、（師長・主任の配置）方向性をしっかり職員に落とし込む体制を整える	1.週 1 回の病床活用カンファレンス・医療介護連携委員会を活用し、医療から介護への流れを推進する
		b.圏域内の他介護施設との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.圏域医療実務者会議で検討 2.各施設訪問にてニーズの見極め、住み分けの徹底	1.他の介護施設との会議等で連携を深め役割分担について引き続き検討する	1.施設訪問等を行い、圏域における老健の役割を検討する
	②機能ごとの運営方針の検討と策定 ・介護期機能	a.介護期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒		1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.介護期機能の在り方について検討する 3.各機能としての在り方と PCFM の確立 4.介護医療院の機能・メリットを活用する 5.介護医療院での短期入所の検討 6.病棟活用との連携強化（医療との連携の再確認）	1.くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの実行（最終年度）と新たなプランの作成
	③役割分担と必要な体制整備の検討	a.介護医療院としての運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.介護医療院の効果的な利用方法を検討する	1.介護医療院としての在り方と PCFM の確立 2.「日常的な医学管理」「看取りや・ターミナルケア」、介護機能、生活機能「生活施設」の 3 つの機能を持つ体制とする。（令和 3 年度改定への対応と連動） 3.在宅復帰や他施設への転所による流動性を確保するかの検討 4.介護医療院の機能・メリットを活用する 5.介護医療院での短期入所の検討	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
		b.介護老人保健施設としての機能の強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療・介護連携委員会にて超強化型老健の要件のチェックを適宜行う		1.在宅復帰機能超強化型の堅持 通りハのサービス内容・体制等について、調査・分析の結果を踏まえて段階的に変更する
		c.入所待機者を見据えた受け入れ体制の構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在院日数、看護必要度、選定療養費など管理の徹底により受け入れや各病棟、老健の移動など適宜行う		1.長期入所者確保の継続(短期10人、退所予定なし40人程度) 2.待機者リスト(院内・在宅)を作成・活用しベッドコントロールを実施 3.益田赤十字病院・松ヶ丘病院相談室との情報交換を実施 4.居宅ミーティングを通して利用対象者の検討及び確保を行う
2-3 地域医療構想に応じた在宅医療機能の対応策の検討と推進	①在宅医療への支援・検討	a.調査に基づく在宅医療支援(必要性)の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用 2.在宅医との意見交換会で在宅代診医システムを検討 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討	1.在宅医療への支援体制の必要性について検討する 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の必要性について検討する 3.新しい訪問サービス体制について検討する	
	②機能ごとの運営方針の検討と策定 ・在宅医療機能	a.在宅医療機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅医との意見交換会で在宅代診医システムを検討 2.会員訪問結果の分析 3.在宅医療部門の在り方についての検討を行う	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.在宅医療機能の在り方について検討する	【訪問看護】 1.圏域在住の高齢者の病気の現状や、入退院の多い疾患の調査を検討
	③在宅復帰できない患者・利用者への対応	a.療養病棟の形態変更の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.人間的に困難はあるが、障害者施設等入院基本料算定の検討	1.療養病棟の在宅適応患者が退院するための支援体制について検討する 2.在宅困難ケースの増加に伴う、24時間訪問看護・介護サービスの提供について検討する(医師会全体で) 3.現在の病棟機能から漏れる利用者の救済方法について検討する 4.医療療養病棟の在り方の検討を行い、介護医療院との連携を検討する 5.在宅サービスの周知と連携の検討	
		b.次工程の明確化(PCFMの確立、患者・利用者をつなぐ・受け取る)	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンスを効果的に活用して、困難ケースに対応する 2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討	1.在宅医療への支援体制の必要性について検討する 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の必要性について検討する 3.新しい訪問サービス体制について検討する	
3 医療・保健・福祉サービスの提供			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
3-1 益田圏域の医療ニーズへの対応	①癌治療の変化への対応の検討	a.最新の癌治療の情報収集	⇒	⇒	⇒		1.治療方法、治療の紹介先、緩和ケア、終末期等の情報を集積し、必要な提供を行う	
	②高齢者医療の充実	a.高齢者の増加に対応できる診療体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.老年内科医師の検討 2.認知症対応力の強化 3.訪問診療の検討 4.益田圏域に特化した医療(医師)の把握・強化	
		b.高齢者の増加に対応できる看護体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.増加する高齢者に対応できる看護体制について検討する 2.夜勤の負担軽減(看護補助者の夜勤導入)	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
							等)について検討する 3.夜勤3人体制を目指す 4.ICT(見守り機器等)の導入及び活用の検討	
		c.高齢者の療養環境の整備充実	⇒	⇒	⇒		1.ICT(見守り機器等)の導入及び活用の検討 2.院内デイケアの検討・整備	
	③増加が懸念される疾病への対応	a.糖尿病患者を支援できる体制の確立	⇒	⇒	⇒		1.糖尿病支援ネットワーク事業を推進する 2.糖尿病療養指導士の資格取得・継続支援を推進する 3.院内に在籍している療養指導士等の活用について検討する 4.のぞみ会の活性化 5.腎臓内科との連携	
		b.肺炎等増加する疾病への対応の確立	⇒	⇒	⇒		1.増加する肺炎等へのより適切な対応について検討する 2.誤嚥性肺炎等、歯科医師会、歯科衛生士会、言語聴覚士等での協働 3.摂食嚥下障害看護認定看護師の育成を検討する(点数化への取組)	
		c.慢性腎臓病(CKD)等腎臓疾患への対応	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.透析が必要となれば、状態に応じて、医療療養病棟・くにさき苑の使い分けを図る	1.腎臓内科開設を機会とし、益田圏域での中核的な役割を目指す 2.CAPD管理の構築(既存症例の管理継続と新規症例の受け入れ) 3.管理栄養士活用による栄養指導の推進、 集団指導の開始	
	④独居等の環境要因による入院への対応	a.在宅生活の維持が困難な方や通院手段がないなど社会的入院への対応	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.レスパイト的入院、くにさき苑短期入所・入所の使い分けの促進。 2.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会で協議	1.介護医療院での短期入所の検討 2.地域包括ケア病棟・医療療養病棟でのレスパイトの受け入れ検討 3.介護医療院の機能・メリットを活用	
	⑤増加する認知症患者への対応	a.認知症患者の療養環境の充実	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.松ヶ丘病院、認知症疾患医療センターとの連携強化、定期的な利用相談体制の確立 2.認知症初期集中支援チームの活用、協働	1.認知症へ対応できる体制について検討する 2.認知症ケアの質向上のため人材(認定看護師、認知症介護基礎研修等)を育成する 3.認知症高齢者増加対応として院内デイケアの設置を検討する 4.レクリエーション可能な院内サービス、宅老所の設置等について検討する 5.ICTを活用した見守りシステムの検討・整備	
	⑥リハビリテーション医療の充実	a.入院リハの機能充実	⇒	⇒	⇒		1.入院リハ単位数増加(125,000単位/年) 2.リハ目的の入院の増加 ・一般病棟・地域包括ケア病棟の年間365日リハの実施 ・各病棟におけるリハ機能の明確化 ・開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政などに対する定期的な啓発活動のシステム化の確立 ・病院配属療法士の必要数の確保(PT20名、OT15名、ST5名)	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
							・リハ診察時の負担軽減への取組	
		b.外来リハの機能充実	⇒	⇒	⇒		1.外来リハ単位数増加(11,000単位/年) 2.紹介件数の増加 ・紹介件数の集計と分析体制の確立 ・リハ対象者のパンフレット作成、見直し化システムの確立 ・開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政などに対する定期的な啓発活動のシステム化の確立	
		c.地域活動の充実	⇒	⇒	⇒		1.地域ケア会議への参加 2.介護予防事業へ参入 ・地域ケア会議・介護予防に関わる職員の育成・登録の推進 ・行政など関係機関との連携体制の確立 ・市内他施設の療法士との連携体制の確立	
3-2 益田圏域の保健 等ニーズへの対応	①予防医療の推進	a.人間ドック受け入れ枠の拡大	⇒	⇒	⇒		1.医師等の確保に努める 2.午後の検診、サンデー検診、レディース検診の実施について検討する 3.コロナ禍の中での検診業務の在り方を検討する 4.スマートヘルスケア事業への協力	
	②休日健診の検討	a.休日健診の実施検討	⇒	⇒	⇒		1.休日健診の実施について検討し、体制についても検討する 2.休日乳がん検診に加えて、休日レディース検診として、子宮がん検診とセットで行うなどの取り組みについて検討する 3.仕事の効率化等、人員不足の解消策について検討する	
	③予防の推進活動(予防の重要性の周知)	a.健康予防の情報提供、健康相談の充実	⇒	⇒	⇒		1.益田地域産業保健センターとの連携を強化し予防活動を推進する	
		b.普及啓発活動の実施	⇒	⇒	⇒		1.あらゆる機会を通じ、予防の重要性等について周知する	
	④特定保健指導の推進	a.特定保健指導のニーズを調査し、必要な体制整備の実施	⇒	⇒	⇒		1.動機付け支援の検討	
3-3 益田圏域の介護 等ニーズへの対応	①入所サービスの充実	a.増加する認知症高齢者への対応検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.松ヶ丘病院、認知症疾患医療センターとの連携強化、定期的な利用相談体制の確立。 2.認知症初期集中支援チームの活用、協働	1.認知症対応力向上のための取り組みの推進 2.認知症ケアスキルアップ研修へ参加	
		b.かかりつけ医、精神科医、歯科医師会・薬剤師会との連携強化のための取り組み	⇒	⇒	⇒		1.迅速な情報提供・共有により連携強化を図る	
		c.ケアプランの充実のための取り組み	⇒	⇒	⇒		1.ケアプラン内容の確認・点検のスキルアップを図る 2.施設内外で開催される研修会への参加	
	②レスパイトケア・緊急入所に対応した短期入所療養介護の充実	a.休日・夜間における緊急受入体制の確立	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用	1.緊急受入手順の見直し及び検討を継続 2.対応手順の周知を図る	
		b.医師会他事業所との連携による支援体制の構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療介護連携統括部主導によるベッドコントロール・権限強化	1.病床活用カンファレンス・医療介護連携委員会・居宅ミーティングでの情報共有・連携により支援体制を強化する	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
								2.地域連携室・医療介護相談室との連携および 医師会病院・南棟部署との協同によるサービス 提供の実施
	③通所リハサービスの充実	a.個別性、継続性のあるサービスの提供	⇒	⇒	⇒			1.リハ計画書の活用の継続 2.各利用者に合ったプランをプライマリーとセラピスト で検討する
		b.成果の総合的評価と情報提供	⇒	⇒	⇒			1.リハ計画に対する報告書を関連職種に配布
		c.通所リハビリテーションの役割(あり方)の検討	⇒	⇒	⇒			1.現状調査・分析の結果を踏まえた検討の継続 2.他施設の状況調査や見学 3.研修会への参加 4.新たな通所リハの運営方法を検討する
		d.リハビリテーションマネジメント加算Ⅳの取得する ための体制づくりを目指す	⇒	⇒	⇒			1.リハビリテーションマネジメント加算Ⅲの算定体 制の確保 2.リハビリテーションマネジメント加算Ⅳ算定のため の情報収集
		e.生活行為向上リハビリテーション実施加算の算 定を目指す	⇒	⇒	⇒			1.算定要件を満たす研修の受講 2.対象者選定のための体制づくり
	④訪問看護サービスの充 実	a.他事業所(病院・施設・居宅等)との連携強 化	⇒	⇒	⇒			1.退院前カンファレンスへの参加を継続 2.退院後の様子を病院へ情報提供する
		b.ケアの質向上のための取り組み	⇒	⇒	⇒			1.事例検討・技術研修を継続
		c.新たな訪問看護サービスの検	⇒	⇒	⇒			1.会員アンケートの実施を検討
	⑤居宅サービスの充実	a.行政や地域の状況を収集、把握するための取 り組み	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市包括支援センター・居宅介護支援事業所と の連携強化(情報交換・共有体制の構築) 2.医療・介護連携委員会の活用(病院～老健 ～在宅間の流れの構築)		1.年2回開催される介護支援専門員連絡会へ の参加と伝達研修の実施
		b.困難ケースの積極的な受入れのための取組 み	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市包括支援センター・居宅介護支援事業所と の連携強化(情報交換・共有体制の構築) 2.地域福祉権利擁護事業、生活困窮者自立 支援事業の活用		1.地域包括支援センターとの連携を強化する
	⑥訪問介護サービスの充 実	a.ケアの質向上のための取り組み	⇒	⇒	⇒			1.人材確保を図り、より柔軟なサービス提供体制 を目指す 2.新たな訪問介護の運営方法を検討する
	⑦訪問リハサービスの充 実	a.ケアの質向上のための取り組み	⇒	⇒	⇒		1.研修会や施設内勉強会への参加による人材 育成 2.介護支援専門員との意見交換の体制確立 (訪問調査等) 3.訪問リハ終了後の社会参加に関する情報収 集のシステム化 4.他施設の状況や当事業所に関するデータ分析 等により、益田市における訪問リハの在り方を 明確にする	1.研修会や施設内勉強会への参加による人材 育成 2.病院の訪問リハと連携し、介護支援専門員と の意見交換を行う体制を確立する 3.訪問リハ終了後の社会参加に関する情報収 集のシステム化 4.他施設の状況や自事業所に関するデータ分析 等により、益田市における訪問リハの在り方を 明確にし、啓発活動を実施
4 利用者サービスの向上と創出			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
4-1 利用者サービス の向上	①安全な医療環境の整 備	a.安全管理者の養成	⇒	⇒	⇒		1.看護部以外の医師、診療部、事務部でも医 療安全管理者の養成を行う 2.介護医療院への設置	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
		b.医療事故発生時の対応体制の確立	⇒	⇒	⇒		1.法律等の施行に合わせた体制の更新等を実施する	
		c.臨床工学科の機能の強化による医療機器の安全の確保	⇒	⇒	⇒		1.臨床工学科の継続的な人材の育成・確保について検討する 2.体制の見直し	
		d.院内感染対策の充実にに向けた取り組み	⇒	⇒	⇒		1.標準予防策遵守に必要な環境の整備を行う ・空調管理について見直しを行う ・院内清掃について見直しを行う ・感染症対策を含め2階病棟の改修を行う	
		e.院内感染発生時の対応の強化	⇒	⇒	⇒		1.ICT活動を充実(時間の確保)する 2.保健所との連携を強化する 3.感染防止対策地域連携加算の継続 4.益田赤十字病院・松ヶ丘病院との連携を継続する 5.アウトブレイク時の担当者支援体制の構築 6.後進の育成 7.感染症対策を含め2階病棟の改修を行う 8.介護医療院への担当者配置の検討	1.介護施設としての新型コロナ感染予防・対策を他職種で協議し、感染対策マニュアルとして取りまとめる。(→医療センター感染BCPの作成の検討)
		f.薬剤科による安全な薬剤管理の充実	⇒	⇒	⇒		1.薬剤の安全性の向上 2.薬剤管理サマリー等による保険薬局との連携の強化 3.介護医療院の薬剤管理体制	
		g.放射線技術科による安全な放射線管理の充実	⇒	⇒	⇒		1.医療放射線安全管理責任者を中心とした医療放射線安全管理体制整備の構築	
	②緩和ケア(在宅・院内)への対応	a.緩和ケアチームの体制強化	⇒	⇒	⇒		1.緩和ケアチームの体制強化について検討する ・緩和ケアチームの継続と強化 ・入院・外来・在宅ケアチームの確立と連携 ・認定看護師の介入による実践力強化	
	③NSTや褥瘡などの診療の質を上げる委員会の活用	a.NSTや褥瘡などの診療の質を上げる委員会の運営方法の再検討	⇒	⇒	⇒		1.栄養サポートチーム加算取得を目指し再検討する	
	④診療・看護・介護の質を上げるための組織体制づくり	a.診療の質を上げるための部門の検討	⇒	⇒	⇒		1.皮膚・排泄ケア及び摂食・嚥下障害看護認定看護師の育成について検討する 2.排尿自立指導料取得のための専門看護師の検討(点数化への取組)	【くにさき苑】 1.看介護 ・R2年度立ち上げた「転倒を考えるWG」の活動を継続 ・安全管理、危険防止策の検討 ・高齢者虐待防止の推進 ・外国人技能実習生受入事業を実施しながら介護全体の質を見直す ・キャリア段位制度を導入・活用し、スキルアップを図る ・学研ナーシングサポートによる教育体制の充実 ・学研介護サポートによる介護従事者のスキルアップと生涯教育の推進 2.通所リハビリテーション ・運転手も参加し介護技術や接遇の勉強会を毎月開催

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
							3.リハビリテーション科 ・計画的な機器整備 ・各サービスにおけるリハの役割やあり方の明確化と啓発 ・必要な人員数の検討 4.相談員 ・他施設と定期的に情報交換を実施 ・ケアプランや報酬改定に関する勉強会を実施 5.栄養科 ・介護報酬改定に対応した栄養管理体制の整備 【訪問看護】 1.事例検討・技術研修の継続 【居宅介護支援事業所】 1.3カ月に1回事例検討会を行い、ケアマネジメント技術の向上を図る 【訪問介護】 1.毎月事業所内勉強会開催	
		b.診療の質を上げるための「働き方改革」の推進	⇒	⇒	⇒		1.一人一人の生産性の向上と向上のための教育・支援体制の構築と機会の提供 ・コロナにより機会が激減しているが、継続する	
		c.既存部署毎に診療・看護・介護の質を上げるための対応策の実施	⇒	⇒	⇒		【診療部】 1.人材確保、人材育成、スキルアップ支援 ①薬剤科 1)病棟薬剤業務実施加算取得への取り組み 2)病院薬剤師会認定薬剤師の育成 3)がん、緩和、感染、栄養、腎臓病、糖尿病、精神、老年薬学等、各種専門性を有した薬剤師の育成 4) バイオ後続品導入初期加算指導料算定への連携 ②放射線技術科 1)計画的な機器整備と補助金の確保 ③リハビリテーション科 1)計画的な機器整備 2)センター内におけるリハ機能の明確化と啓発 3)365 日リハ提供体制の検討(一般病棟、地域包括ケア病棟) 4)地域ケア個別会議や介護予防事業等への連携体制の確立 ④臨床検査科 1)日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設認証制度への検討 ⑤臨床工学科 1)透析室との協働 2)内視鏡室との連携、他診療部との連携	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
						⑥栄養科 1)栄養管理の充実・質向上 2)病棟看護師等の負担軽減のための取り組み 3)管理栄養士の病棟配置の検討と業務調査 ・管理栄養士病棟(常駐)配置 ・栄養管理の充実・質向上 ・病棟看護師の負担軽減 ・他施設機関への栄養情報提供強化 ・努力義務化される回り八病棟配置実施に向けた取り組み ・病棟業務の作業分担、できる業務の調査、検討 ・配置病棟時間の検討 ・給食管理業務、その他業務の見直し、業務量調査 ・部門業務の整理(管理栄養士でなくてもできる業務) ・必要人員(管理栄養士・栄養士)の検討 ⑦医療介護相談室 ・患者・利用者の流れ(PCFM)の把握と構築(Patient Client Flow Management) 【看護部】 1.人材育成、スキルアップの支援 2.次世代管理職候補の選定と育成 3.師長・主任の認定看護管理者教育課程への計画的な参加(毎年度、2名程度参加) 4.管理職への理念の浸透と経営意識の形成と醸成 5.認定・特定・医療安全等への人選と育成支援 6.看護部の働き方改革 ・看護部事務クレークの配置の検討 ・看護部内タスクシフト・シェアの検討 ①外来 1)内視鏡検査技師の育成 2)病棟応援体制の構築 ・入院時、病棟応援看護師業務の確立 ②手術室 1)病棟応援体制の検討 ・日当直時、手術対応患者来院の際の応援体制の検討 ③保健予防センター 1)保健予防センターの機能促進 2)健診枠の拡充 ・人間ドック受入れ人数の増加 ・特定保健指導の実施(管理栄養士との協力体制が必要) ・疾病予防のための活動の推進(休日乳がん検診、休日検診、事業所健診、特定健診など		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
						の実施) ・健康教室の開催(メンタルヘルス対策への外部活動) ・ストレスチェック事業 ・心の相談業務など ・職員の健康保持増進についての支援の取り組み ④医療安全対策室 1)安全な医療・介護の提供 ・リスクマネジメントにおける職員教育 ・多職種協働、患者参加の推進 ・職場環境の整備 ・安全な医療機器の取り扱い ・部門間の協力、情報共有 ・改善活動の推進 ・転倒・転落防止対策 ・医療事故対応 ⑤感染対策室 1)感染対策環境の充実 2)感染管理認定看護師の育成 ※病棟に関しては7-2・3・4にて 【事務部】 1.人材育成、スキルアップの支援 ・スキルアップのための資格取得への支援 2.事務職員として理念の浸透と経営意識の形成 3.組織ビジョンの共有と実現のために「自ら考え行動する」 4.「変化・変革」に対応するイノベーターシップ(マネジメント+リーダーシップ)の醸成 5.医療・介護現場からのタスクシフト・タスクシェアの検討及び実践 6.令和4年度、病院機能評価受審の検討及び情報収集(受審する場合、準備・体制づくり) 7.事務職員としての必要なスキルの把握と周知		
4-2 情報発信、広報活動の実施と充実	①より効果のある広報活動の展開	a.広報活動体制の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各事業部と連携して、効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う	1.効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う	
		b.情報誌(双葉他)の魅力化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.連携室だよりの充実	1.魅力ある誌面作りについて検討する	1.魅力ある誌面作りについて検討する
		c.リニューアルしたホームページの活用	⇒	⇒	⇒	事業本部 1.医師会として、正確で有益な情報の掲載を行う 【統括部】 1.在宅医療介護連携推進事業内容を適宜更新する 2.統括部の役割・体制について掲載内容を充実させる		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
		d.インターネット(HP・SNS)の活用促進	⇒	⇒	⇒		1.インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開する	
		e.関係機関や地域への広報の実施	⇒	⇒	⇒		1.多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施する	
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
5-1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	①会員が利用しやすい共同利用施設の運営体制	a.会員医師と職員との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用	1.会員医師と連携を強化し共同利用の推進に努める 2.会員と常勤医師の協議の場を設定する 3.毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う	
		b.より良い関係構築のための方策検討	⇒	⇒	⇒		1.毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、必要な方策について検討する 2.医師会各施設より、正確で幅広い情報提供を行う	
		c.地域医療介護連携統括部による会員との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れをする 2.会員の要望を的確に収集し、関連部署に連絡する	1.各事業部の利用動態について定期的に報告・協議を行い、連携を強化する 2.地域医療介護連携統括部内の相談員同士での情報交換を密にし、相互利用活性化を図り、会員に適切な情報を提供する	
	②地域医療支援病院としての機能の充実	a.紹介患者に対する医療の提供 紹介率の向上対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用 2.紹介患者のスムーズな受け入れをする	1.会員との連携強化(紹介方法・受入態勢等)について検討し実施する 2.退院調整能力の向上について検討し、紹介率の向上を図る 3.地域医療介護連携統括部と病棟との連携強化 4.退院調整看護師の増員等による退院支援の充実について検討する 5 入院時の対応強化と退院調整への流れの確立(点数化への取組)	
		b.救急の維持対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.日赤との連絡会議で話し合う	1.圏域救急病院と役割を分担し圏域の救急医療の一翼を担う 2.会員の協力体制について検討する	
		c.共同利用の促進対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用	1.医療機器等の共同利用の更なる利用について検討し、利用率の向上に努める 2.ニーズ・必要性・経営等、多角的に検討し最新医療機器・備品の整備を行う 3.医療材料等の共同購入の検討	
		d.地域の医療従事者に対する研修の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター事業、圏域課題解決推進事業、在宅医療介護連携推進事業を活用した研修会の開催	1.会員医療機関、介護施設他の従事者に対して医師会研修会の開放を行う 2.医師会医師会、薬剤師会との共同の研修会を開催する 3.病院・くにさき苑が研修受入機関となり研修生を受け入れる 4.島根大学医学部附属病院スキルアップセンターとの協働	
		e.かかりつけ医の支援対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用	1.在宅療養後方支援病院として、かかりつけ医の診療支援	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
						2.在宅医との意見交換会で在宅代診医システムを検討 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討	2.対応困難な診療への支援 3.休診・休日・夜間の支援体制の検討 4.医師会員のニーズに対応した体制の検討	
		f.医師少数地区等を支援対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医師の意見交換会で検討	1.地域医療拠点病院としての事業を展開する	
	③開放型病棟、手術室の利用促進	a.会員の手術室利用の強化	⇒	⇒	⇒		1.耳鼻咽喉科手術体制の継続	
	④共同利用検査機能の充実(臨床検査センター以外の検査)	a.検査の紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒		1.効率的な運用により予約枠の拡大について検討する 2.放射線検査オンライン予約システムの導入について検討する 3.放射線検査画像、検査レポートの受け渡し方法について検討する	
		b.既存検査機能の拡大	⇒	⇒	⇒		1.検査機能の補完(益田赤十字病院の検査部門をバックアップ機関として使用させてもらうための協議を行う(検査項目、手順))について検討する 2.検査機能の拡大(不妊治療のための検査設備の充実(外来部門、採精室の整備))について検討する	
		c.最新検査機器の整備検討	⇒	⇒	⇒		1.ニーズ・必要性・経営等を踏まえ、毎年高額機器等購入計画で整備を行う 2.整備にあたっては補助金確保を検討し、活用する	
	④臨床検査センターの安定した運用	a.臨床検査センターの運用データの収集	⇒	⇒	⇒		1.開設以降の各種データを収集・蓄積する	
		b.臨床検査センターの運用について会員意見聴取	⇒	⇒	⇒		1.医師会員訪問に同行し、意見聴取を行う	
		c.臨床検査センターの運用方法の検討	⇒	⇒	⇒		1.収集したデータ・意見等を元に運用方法について検討する 2.臨床検査センター独自の検体取扱件数増加への取り組みの検討(スマートヘルス事業への協力や給食施設の検便等) 3.保健予防センター(企業検診等)との協働の検討 4.益田市スマートヘルスケア事業への協力	
	⑤透析室の安定した運用	a.透析部門の組織化の検討	⇒	⇒			1.透析部門の確立 ・島根大学腎臓内科の治療方針に沿った診療への変更、それによる透析症例の延命と患者数減少の抑制	
		b.必要な人員・機材の確保	⇒	⇒	⇒		1.患者数に応じた人員・機材の確保 2.器材の標準化。それによる材料費削減 ・益田赤十字病院との標準化	
		c.取り扱い患者の増加	⇒	⇒	⇒		1.新規患者の受け入れ ・旅行患者・里帰り患者の受け入れ開始 ・送迎サービスの検討 ・透析高齢者の受け入れ可能施設の増加を推進 ・患者様増加時、1日2クール体制への取組 2.腎臓内科を含めた今後の透析患者の把握	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
	⑥ 共同利用施設としての介護施設の利用促進	d.新規診療報酬算定項目の情報収集と推進	⇒	⇒	⇒		1.透析リハビリテーション料の開始 2.血液透析アクセス日常管理加算の検討	
		a.介護医療院、介護老人保健施設の入所利用者の会員紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.利用方法のPR 2.会員訪問結果の分析と活用 3.紹介患者のスムーズな受け入れをする	1.患者・利用者の流れ(PCFM)の確立(Patient Client Flow Management) 2.介護医療院の機能・メリットについて活用する	1.統括部と協働し、会員の利用(紹介)促進を継続 2.情報提供と利用状況の分析を継続
		b.短期入所、通所リハの利用者の会員紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.利用方法のPR 2.会員訪問結果の分析と活用 3.紹介患者のスムーズな受け入れをする	1.介護医療院における短期入所の検討	1.空床状況の連絡を継続
		c.訪問看護、訪問リハ、訪問介護の会員利用者の紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.利用方法のPR 2.会員訪問結果の分析と活用 3.紹介患者のスムーズな受け入れをする	1.訪問リハでの診察への対応検討	【訪問看護】 1.積極的な受入れの継続 2.訪問看護の役割等について、会員に伝える機会を設ける
		d.居宅介護支援事業所、地域包括支援センターの会員との連携強化の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.利用方法のPR 2.会員訪問結果の分析と活用 3.紹介患者のスムーズな受け入れをする		【居宅介護支援事業所】 1.紹介の積極的な受入れ 2.適切な情報提供
5-2 医師会としての 会員支援の検討	① 開業・廃業・継承時の支援	a.支援方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.マニュアル化を進める		
		a.医療事故支援体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療事故研修会等への参加を促進する 2.医療事故相談体制について検討する		
	③ 診療所経営に関する支援	a.診療報酬等の算定支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修会等の実施 2.適正在庫での購入方法の検討		
		b.薬剤診療材料削減方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学術講演会及び病院主催の技術研修会の開催等の実施		
	④ 会員医師の生涯教育の推進と技術の向上	a.医療技術の生涯教育への支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.マニュアル化を進める		
	⑤ 三師会共同の取り組みの推進	a.歯科医師会・薬剤師会と連携した取り組みの検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.糖尿病の医科歯科薬科連携事業(島根県歯科医師会 地域保健部が主体で実施)に協力する	1.適切な薬剤選択支援 1) 地域フォーミュラリについて学ぶ(講演会等の開催) 2) 地域フォーミュラリ策定を行う組織作り 3) 策定に着手 4) 最低1つの薬効群について実行 ※地域フォーミュラリとは・・・地域ごとに策定する医薬品の使用指針(地域の病院・診療所・薬局で処方例を決める)	
6 地域社会への貢献			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
6-1 大規模事故・災害時の援助体制の整備充実	① 大規模事故・災害援助体制の確立と支援体制の整備	a.災害時の益田市医師会の役割の確定・益田地域災害医療対策会議への参加	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会議等での情報収集及び益田市地域防災計画の理解を深め、防災対策委員会で周知を図る		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
						2. 新型コロナワクチン接種事業への参加、行政や関係機関との協業体制づくり。		
		b. 大規模事故・災害時の連絡体制の確立と通信方法の確保	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 衛星電話等、大規模災害時の連絡体制の確保を検討する 2. 職員への一斉通知・安否確認等の方法について整備を検討する		
		c. 大規模事故・災害対応に関する規程類の作成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 各事業部と協力し BCP 策定を推進する	1. 本部と協働して BCP (危機管理における事業継続計画) の作成	
		d. 行政等が行う災害訓練への積極的な参加と、医師会独自の訓練の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 石見空港航空機事故消火救難総合訓練等を通じた外部訓練への参加 2. 地域住民参加型の院内防災訓練の継続		
6-2 労働者の健康管理への支援	① 認定産業医のスキルアップ	a. 認定産業医のための研修会の開催	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 産業医部会事業として研修会等の開催を継続する		
	② 地域産業保健センターと協働した健康管理	a. 地域産業保健センターとの連携・協働	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 従業員 50 人未満の事業所に対し、地域産業保健センターを中心に健康管理活動を継続する		
6-3 園児・学童の健康管理への支援	① 健康管理支援体制の強化	a. 教育委員会及び学校等との連携強化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 学校医部会・園医部会の活動を通じて学校等との連携の強化に努める		
		b. 養護教員等の医療知識向上の協力	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 学校医部会・園医部会の活動を通じて養護教員等の医療知識向上に協力する		
6-4 地域への啓発活動	① 医師会主催のイベント・講演会等の見直しと活性化	a. 医師会まつりの活性化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 医師会まつりの活性化に向け検討結果を具体化する		
		b. その他イベント・講演会等について、マンネリ化の回避	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. イベント・講演会等の検証と先進事例調査等に基づき見直しを行う		
6-5 地域社会貢献の検討	① 可能な地域社会貢献の検討と促進	a. 現体制で何ができるのか検討と社会貢献の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 会員アンケート調査等の結果を踏まえ可能な社会貢献について検討する		
	② 会員・職員の地域活動に対する支援	a. 地域社会活動への会員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 情報提供等を行い参加の促進に努める 2. 地域住民の参加でき、地域での暮らしを支援する企画を検討する。		
		b. 地域社会活動への職員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 会議等を通じ啓発を行い、参加の促進に努める		
6-6 地域社会活動の支援促進	① 地域社会活動に企業ボランティアとしての支援方法の検討	a. 地域社会活動に継続的に支援できる方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 地域社会活動へ医師会としての支援の方法について検討する		
		b. 地域イベントに医師会救護班等の人的支援の促進の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 引き続き医師会の人的資源を活用した支援について推進する		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
						2.引き続き医療救護班への派遣、地域行事・学校行事への派遣等を実施		
7 安定した経営基盤の確保			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
7-1 医師会組織の安定した経営基盤の確保	①中長期計画の着実な実行のための組織・体制の構築	a.効率的でわかりやすい組織の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.中長期計画の着実な実行のための組織・体制の検討 2.中長期計画第4期実施計画(R05年度ｽﾀｰﾄ)の検討体制の検討		
		b.ガバナンス体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.公益法人運営の重点事項として、しっかりとした統治が行える体制の構築について不断の努力を行う		
		c.規則・規程等の見直しとコンプライアンスの徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.規則、規程類を整合性・不備等について検証し、必要な見直しを行う 2.公益法人運営の重点事項としてコンプライアンスの徹底について不断の努力を行う		
	②コスト意識と法律に基づく適正な会計の実施	a.コスト意識と、経営への参画意識の醸成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修及び勉強会等の実施により、経営の安定があつて、発展につながるとの意識を持った組織を目指す 2.業務の改善に当たっては、常に費用対効果を判断基準のひとつにおき推進する		
		b.コスト管理を重視したシステムの導入 ・原価計算の導入 ・業務の外部委託の是非 ・業務効率化のための本部システムの検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.事業ごとの病棟別等収支状況の分析を継続する		
7-2 病院一般病棟の安定した運営	①計画的な一般病棟の利用促進	a.3か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～令和3年の病棟再編計画の実行 2.地域包括ケア病棟の更なる活用を考え病棟の配置転換	
	②利用率低下への対応	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握	1.4階病棟の在り方とPCFMの確立 2.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす	
		b.かかりつけ医・周辺施設と患者情報の共有による効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れをする 2.センター内の患者移動(病院～老健～在宅間の流れ)を効果的にする 3.周辺施設との入退院連携を進める	1.会員との情報交換の充実 2.周辺施設との連携強化 3.病床活用カンファレンスの有効利用	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れをする 2.患者数確保ため会員へ空床情報を提供 3.会員訪問結果を活用し、紹介しやすい体制をつくる 4.在宅療養後方支援病院の登録を増やす	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 3.紹介栄養指導(集団・個人)の継続	
	③収益の増収方法の検討	a.診療報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬・介護報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
							2.療養病棟、回復期リハの類上げ 3.地域包括ケア病棟の更なる活用を考え病棟の配置転換	
		b.診療報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.個室化及び療養環境の充実 2.個室料見直し(2階病棟再編に合わせて)	
7-3 病院 地域包括ケア病棟の安定した運営	①計画的な地域包括ケア病棟の運用	a.3か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～令和3年の病棟再編計画の実行 2.地域包括ケア病棟の更なる活用を考え病棟の配置転換	
	②利用促進方法の検討	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握	1.地域包括ケア病棟の在り方とPCFMの確立 2.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす	
		b.かかりつけ医・周辺施設と患者情報の共有による効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れを検討 2.センター内の患者移動を効果的にする 3.周辺施設、特に日赤との入退院連携を進める	1.会員との情報交換の充実 2.連携会議(益田赤十字病院)の継続など周辺施設との連携強化 3.病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 4.自宅からの地域包括ケア病棟への受入(現1または3における実績評価部分)の検討(レスパイトの受け入れも必要)	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れをする 2.患者数確保ため会員へ空床情報を提供 3.直入患者の受入を増やす 4.在宅療養後方支援病院の登録を増やす	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 3.紹介栄養指導(集団・個人)の継続 4.リハ目的の入院患者数の増加	
	③収益の増収方法の検討	a.診療報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.地域包括ケア病棟の更なる活用を考え病棟の配置転換を検討している	
		b.診療報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.2階病棟の個室化・アメニティーの充実 2.個室料の見直し	
7-4 病院 特定病棟(回復期リハ・特殊疾患・医療療養病棟)の安定した運営	①計画的な特定病棟の運用	a.3か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～令和3年の病棟再編計画の実行 2.地域包括ケア病棟と特殊疾患病棟の入替	
	②利用者減少への対応	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.対象患者の情報収集をし、待機者確保により病床稼働率を上げる	1.患者・利用者の流れ(PCFM)の確立(Patient Client Flow Management) 2.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす	
		b.効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.統括部カンファ、病床活用カンファ、医療・介護連携委員会での管理体制強化。困難ケースの洗い出し、在宅部門からの受入れ、受け入れ病棟の選定 2.紹介患者のスムーズな受け入れを図る	1.会員との情報交換の充実 2.連携会議(益田赤十字病院)の継続など周辺施設との連携強化 3.病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 4.各部署、協働して速やかな受け入れを行う	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.圏域外慢性期病院からの紹介の促し、状態の	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
						把握 2. 居宅介護支援事業所からの紹介の促し	2. 近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 3. 紹介栄養指導(集団・個人)の継続	
③ 収益の増収方法の検討	a. 診療報酬等収益の確保対策		⇒	⇒	⇒		1. 診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2. 常に次期改定を視野に入れて、情報を蓄積し対応策を検討する 3. 療養病棟 1、回復期リハ 1 への類上げ	
			b. 診療報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1. 調査・検討を続ける 2. 個室料の見直し検討
④ 回復期リハ病棟の効率的な運用	a. 回復期リハ病棟に関する情報収集と分析		⇒	⇒	⇒		1. 回復期リハ病棟の在り方と PCFM の確立 2. 入院基本料 3 において努力義務である管理栄養士の配置について検討する(タスクシェア・タスクシフト)	
			b. 回復期リハ病棟の施設基準 3 の維持と 1 への取り組み	⇒	⇒	⇒	1. 治療成績(FIM)の向上検討・対策へ計画をシフトする 2. 次期改定での要件維持を行う 3. 施設基準 3→1 へは可能。但し夜勤看護師 2 名が配置できない ・早期の受け入れ、1日に2名の入院受入 4. 明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み ・実績指数 40 点以上 ・入院期間利用率 55%以下 ・重症度割合 25%以上 ・発症から入棟までの期間 28 日 ・発症から 30 日以内の入棟者 60%以上 ・専任の管理栄養士配置を見据えて、リハビリテーション総合実施計画書の書式変更や益田赤十字病院との連携の推進 5. 4 階病棟から回復期リハ病棟への流れの促進 6. 回復期リハ病棟からくにさき苑(通所リハ・短期入所)への流れの促進	
	c. 回復期リハ病棟の治療成績の集計分析	⇒	⇒	⇒		1. 患者獲得への分析・検討を行う ・リハ科と回復期リハ病棟スタッフでの合同勉強会の実施 ・看護師と療法士を公式な FIM 研修会へ派遣 ・適正な評価につながるための定期的な勉強会の開催 2. 地域住民や他の医療機関に啓発・営業活動を行う		
	d. 回復期リハ病棟入院対象者の拡大や入院体制の見直し	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 紹介患者のスムーズな受け入れを検討 2. 周辺施設、特に日赤との連携を進める	1. 廃用症候群などの入院受け入れ体制の確立 2. 入院までの期間の短縮 3. 在院日数の短縮の検討		
⑤ 特殊疾患病棟の効率的な運用	a. 特殊疾患病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性		⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 受入要件・基準の再検討、再確認。それに則った受入れ。適正な病床数検討。	1. 特殊疾患病棟の在り方と PCFM の確立 2. 入院対象者の確保と対象外のバランス確保 3. 入院料、加算対象者の受け入れ強化 4. 医療・看護対応力の強化 5. 明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み 6. 地域包括ケア病棟との入れ替え	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
⑥医療療養病棟の効率的な運用	a.医療療養病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.入院基本料 I 堅持のための患者確保に努める	1.医療療養病棟の在り方と PCFM の確立 2.療養病棟入院基本料 1 の取得 3.在宅復帰機能強化加算の取得 ・年間 7 名の一般・包括からの入院受け入れ、在宅退院(介護医療院) 4.出来高算定項目への対応 5.医療・看護対応力の強化 6.明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み 7.入院透析の受け入れ 8.リハが必要な疾患が発症して 30 日以内の受け入れ 9.施設・在宅からの軽度の増患の受け入れ 10.医療療養病棟の在り方についての理解 11.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への移動により、介護医療院において加算創設予定	
			⇒	⇒	⇒		1.地域医療介護連携統括部と共働し、医師会内介護事業所との連携方法について検討する 2.患者・利用者の流れ(PCFM)の確立 3.在宅患者の機能維持・介護維持への取り組み(紹介)	
			⇒	⇒	⇒		1.地域医療介護連携統括部との連携・共働し増収対策について検討する	
			⇒	⇒	⇒		1.会員と連携することで算定できる加算について検討する(在宅療養後方支援病院、退院時共同指導等) 2.会員医療機関が、在宅療養支援診療所を取得できる支援体制の検討を行う	
7-5 病院 介護医療院の安定した運営	①計画的な介護医療院の運用	a.3か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～3年の病棟再編計画の実行 2.介護医療院(=在宅)への流れの構築 3.介護医療院の機能・メリットを生かした運営 4.令和3年度介護報酬改定への対応	
	②利用者安定確保	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒		1.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす 2.介護医療院の在り方と PCFM の確立 3.介護医療院の機能・メリットを生かした利用者の選定	
		b.効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.受入要件・基準の見直し 2.医療介護連携統括部主導によるベッドコントロールの体制強化、医療・介護連携委員会での調整 3.周辺施設、特に日赤との連携を進める	1.会員との情報交換の充実 2.連携会議(益田赤十字病院)の継続など周辺施設との連携強化 3.病床活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 4.介護医療院のメリットの活用 5.介護医療院における短期入所の検討 6.医療療養病棟の長期患者を介護医療院受け取ることで、介護医療院において加算創設予定	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れを検討	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
							2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保	
	③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.セラピストの介入、排泄ケア加算等の検討 3.令和3年度介護報酬改定への対応	
		b.介護報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.介護報酬外収益の検討 2.個室料の見直し検討	
7-6 介護老人保健施設の安定した経営	①計画的な介護老人保健施設の運用	a.3か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.長期利用者、入所・短期入所、通所リハの適正な振り分け。		1.くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの実行(最終年度)と新たなプランの検討 2.BCPの策定
	②入所系サービス・入所利用者の安定的確保	a.幅広い高齢者を受け入れるための体制強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.松ヶ丘病院との連携強化(松ヶ丘病院退院後の受入れ、認知症患者の受入れ要請など)		1.病床活用カンファレンス・医療介護連携委員会を活用し重介護や困難ケースも積極的に受け入れる 2.幅広い高齢者を受け入れるための環境整備を検討する 3.認知症対応力向上のための取り組みの推進 医療ニーズへの対応の強化
		b.変化する利用者動向に対応した運営の強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.長期利用者、入所・短期入所、通所リハの適正な振り分け。		1.益田赤十字病院・松ヶ丘病院相談員と情報交換を行い利用対象者の相談・検討を行う
		c.リハビリテーション目的の利用者を増やすための取り組み	⇒	⇒	⇒			1.回復期リハ病棟および通所リハ利用者を対象に老健でのリハビリの必要性を検討し、入所・短期入所の利用者を積極的に選定する 2.利用率が低下する時期の利用促進対策の検討
	③短期入所サービスの適切な運用	a.利用者数の適正化・維持を図る	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.適正な数の設定		1.入所を優先しながら、10人程度の稼働を維持する
		b.空床の利用促進	⇒	⇒	⇒			1.空床連絡に加え、居宅介護支援事業所や関係機関へ個別に紹介依頼を実施
	④通所リハビリテーション機能強化等	a.効率的な運営の検討	⇒	⇒	⇒			1.現状調査・分析の結果を踏まえた検討の継続
		b.リハビリテーション機能のあり方(強み)についての検討	⇒	⇒	⇒			1.利用者とともにくにさき苑の現状を把握し、リハビリ機能を活かせる方法を検討する
	⑤収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒			1.令和3年度報酬改定に対応した体制づくりを行い、適切に加算を算定する
	7-7 居宅介護支援事業所の安定した経営	①計画的な居宅の運用	a.3か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.東部・中部包括支援センターケママネジャーの兼務体制を検討 2.統括部内の人事異動により活性化を図る	
②利用者の安定的確保		a.新規利用者獲得策の立案	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市内他地域包括支援センターとの情報交換促進、連携強化(ex.定例会開催) 2.医療相談員・支援相談員の居宅ミーティング参加により、潜在的な利用者の発掘を行う		1.利用者数確保のため、予防の受け入れを検討する
③効率的な経営基盤の確立		a.効率的な運営具体案の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.東部・中部包括支援センターケママネジャーの兼務体制を検討 2.管理者の養成 3.医療相談員・支援相談員の居宅ミーティング		1.居宅ミーティング・南棟ミーティングを活用して検討する

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
		b.ケアマネジャーの質の確保	⇒	⇒	⇒	参加により、潜在的な利用者の発掘を行う 【統括部】 1.東部・中部包括支援センターケアマネジャーの 居宅介護支援事業所兼務を検討 2.統括部内の人事異動により活性化を図る 3.男性ケアマネジャーの確保		1.3ヶ月に1回事例検討会を行い、ケアマネジメント技術の向上を図る
	④収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.マンパワーを見据えた受任件数の再設定		1.令和3年度報酬改定に対応した体制づくりを行い、適切に加算を算定する
7-8 訪問看護ステーション等の安定した経営	①計画的な訪問看護の運用	a.3か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒			1.くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの実行(最終年度)と新たなプランの検討 2.BCPの策定
	②効率的な経営基盤の確立	a.病院、施設との連携強化	⇒	⇒	⇒			1.センター管理会を活用し、医師会病院からの利用の促進を図る
		b.独自のサービスの立案・推進	⇒	⇒	⇒			1.インフォーマルサービスについて検討する
		c.セラピスト訪問によるリハビリ提供の積極的な実施	⇒	⇒				1.主治医に相談しながらリハビリの必要性を検討し、利用の促進を図る
③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒			1.令和3年度報酬改定に対応した体制づくりを行い、適切に加算を算定する	
7-9 ホームヘルプ事業所の安定した経営	①計画的な訪問介護の運用	a.3か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒			1.くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの実行(最終年度)と新たなプランの検討 2.運営体制について検討する
	②利用者の安定的確保	a.新規利用者獲得策の立案	⇒	⇒	⇒			1.人員確保に努める
	③効率的な経営基盤の確立	a.効率的な運営具体案の実施	⇒	⇒	⇒			1.人員確保に努める
	④収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒			1.令和3年度報酬改定に対応した体制づくりを行い、適切に加算を算定する
7-10 訪問リハビリテーションの安定した経営	①計画的な訪問リハの運用	a.3か年による病棟再編計画、くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～令和3年の病棟再編計画、くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの実行	1.くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの実行(最終年度)と新たなプランの検討 2.BCPの策定
	②訪問リハビリテーションの利用者確保	a.効率的な運営のための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.くにさき苑入所利用者への広報活動を実施する 2.対象者を退所前に選定する体制を確立 3.医療センター内での潜在利用者の掘り起しを行う	1.「手引き」の修正と配布 2.対象者を退所前に選定する体制を確立 3.介護支援専門員や地域住民に対する啓発
		b.地域のニーズに対応するための具体策立案	⇒	⇒			1.利用者の需要調査を継続実施する 2.圏域内の他事業所の事業を把握する 3.リハ診察困難者への対応	1.市内の他事業所や利用状況の調査
③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.実施件数や実施期間などの分析と検討体制の確立 3.訪問リハの手引きの修正体制の確立 4.センター内および他機関(開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政など)への定期的な啓発活動のシステム化 5.病院訪問リハ療法士の確保(合計6名) 6.病院訪問リハの回転率 90%～60%に調整	1.令和3年度報酬改定に対応した体制づくりを行い、適切に加算を算定する 2.訪問の件数や期間の分析と検討体制の確立 目標訪問件数：250件/年	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)	
			02	03	04				
							方法の確立 目標: 病院: 4680 単位/年		
7-11 地域包括支援センターの安定経営	① 事業実施に必要な受託費用の確保	a. 益田市との予算協議の継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 適正な予算確保に向けた益田市と協議を継続する 【統括部】 1. 次年度予算確保に向けた事業費の検証と、市との協議			
	② 地域包括支援事業の安定運営	a. 益田市との連携を図りながら適切に運営する	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 益田市との協力体制の構築 2. 連絡会議 3. 巡回訪問			
		b. 地域・関係機関との連携構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 医療機関の担当者や民生委員、地域自治組織とのネットワーク構築			
		c. 地域住民への周知	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. チラシ配布 2. 地域に出向き、啓発活動の実施			
	③ 指定介護予防支援事業の安定運営	a. 安定運営	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 適切な介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援が行える 2. 東部・中部包括支援センターケアマネジャーの兼務体制を検討			
		b. ケアプラン作成の効率化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 業務改善の実施			
		c. 関係機関との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. サービス事業所や新規参入する総合事業実施主体との関係構築			
	④ 中部圏域移設に向けた検討	a. 移設後の体制を検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 移設に向け益田市と改修工事および開設予算等の最終調整を行う 2. 業務体制・人員体制の最終決定 3. 移設に係る諸手続きを円滑に進める 【統括部】 1. 令和3年度中の開設準備を進める 2. 業務・役割分担の明確化			
	7-12 へき地医療施設の安定経営	① 益田市国民健康保険医療施設の安定経営	a. 地域ニーズに基づく安定した経営を行う	⇒	⇒	⇒	【事業本部・美都診療所】 1. 益田市と情報共有を密に図り、地域ニーズに適応した運営に努める		
			b. 指定管理者として益田市と共同でして運営を行う	⇒	⇒	⇒	【事業本部・美都診療所】 1. 指定管理者として益田市と連携し安定運営に努める		
② へき地巡回診療出張所の安定経営		a. 無医地区への医療を提供する体制を維持する	⇒	⇒	⇒		1. 益田市からの検討要請に伴い、小野地区の検討		
		b. 益田市と共同で住民ニーズにあった経営を行う	⇒	⇒	⇒		1. 益田市からの検討要請に伴い、小野地区の検討		
		c. 運営補助金の確保	⇒	⇒	⇒		1. 継続して行う		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
8 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
8-1 計画的な人材の確保と育成	① 医師会職員への教育体制の充実	a. 研修体制の整備と研修機能の充実	⇒	⇒	⇒		1. 全体の教育体制を検証しキャリアプラン形成への制度化及び支援	
		b. 新専門医制度への対応	⇒	⇒	⇒		1. 制度・先進事例等の調査 2. 新専門医制度への対応の検討 3. 専門医育成計画の策定	
		c. 研修医受け入れ体制の検討	⇒	⇒	⇒		1. 各種学会の指定施設となるために各基幹大学や病院との連携に努める 2. 益田赤十字病院と協議（医学生の受入れも含め）し、必要な条件整備を行う	
		d. 認定看護師、特定行為のできる看護師等の資格取得の促進	⇒	⇒	⇒		1. 意欲と適正を見極め認定看護師、特定行為のできる看護師等の資格取得を促進する	
		e. 管理職、管理職候補者研修の充実	⇒	⇒	⇒		1. 各職種にあった管理職研修への参加を促進する	
	② 医師の求人活動	a. 医師確保対策に努める	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 病院事業部と連携し確保に努める	1. 勤務病院選定理由等調査・分析 2. 医師確保条件整備の検討 3. 島根県（医師確保対策室）への働きかけと連携強化 4. 島根大学等への働きかけと連携強化 5. 卒後教育・研修プログラムの検討 6. 学会認定施設の取得を目指す 7. M3キャリアとの個別契約の実施 8. 医師の働き方改革への対応（令和4年） 9. 繋がり継続	
		b. 医師招聘につながる処遇の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 医師の働き方改革への対応 2. 給与制度改革に併せ検討を進める	1. 他病院等における状況について調査する 2. 調査内容について分析する 3. 就職希望医師の雇用形態別処遇について検討する 4. 当院にあった雇用形態のあり方を検討する 5. 医師の働き方改革への対応（令和4年）	
		c. 親父の背中プログラムの継続	⇒	⇒	⇒	1. 合同会社ゲネプロとの連携維持 2. プログラムの継続とブラッシュアップ	1. ゲネプロとの連携を継続して行う 2. 親父の背中プログラムの継続とブラッシュアップ 3. 医師会病院が求める医師像の確立	
	③ 職員の安定確保	a. 採用困難職種の採用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 職員紹介制度やUIターン就職支援金貸与制度など、新たな制度のPRを強化し職員確保につなげる 2. 人材紹介会社を活用した即戦力確保を行う 3. 既退職者等へのリクルート体制を整備しコンタクトを図る	1. 不足する専門職の欠員を補うため、業務内容を整理し、補助員の雇用等を含めた定員の見直しを行う 2. 潜在資格の掘り起し及びその職場を志向する職員の調査を行う 3. 上記定員の見直しを基に、将来を見据えた5年程度の採用計画を立てる（機能再編・人口構造・職員の年齢構成等）	
		b. 採用活動の徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を行う 2. 学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を行う 3. 中高生への働きかけ強化し、早期に医療に興	1. WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を行う 2. 学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を行う 3. 中高生への働きかけ強化し、早期に医療に興	

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
						3.中高での企業参加イベント等に参加し、医療に目を向ける学生を増やす取り組みを継続する	味を持つように学生には早期に関係づくりを行っていく	
		c.給与制度の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革により新たに設定した給与体系を新卒採用に効果的に活用する 2.応募動向の変化を分析する	1.競争力のある採用困難職種の初任給、各種手当等の見直し	
		d.採用方法の検証と改善	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.求める人材像の明確化するため、採用基準・方法等を再検証して、必要な人材の確保に努める	1.求める人材像の明確化するため、採用基準・方法等を再検証して、必要な人材の確保に努める 2.事務で行う適性検査について、試験結果と採用後の状況を検証し、他職種採用試験の改善を図る	
		e.多様な雇用の推進・検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.高齢者継続雇用(定年延長等)の検討と働き方(役割)の検討 2.障害者雇用の推進 3.介護技能実習生受入れがもたらす効果の分析を行う	1.高齢者雇用、障害者雇用の推進 2.介護職等の不足に備え検討し将来に備えるため、外国人雇用を行う 3.介護技能実習生の受入れ	
	④人材の育成	a.キャリア形成の支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.自己啓発に取り組む環境の醸成のため、経費補助や休暇制度等の導入を検討する		
		b.管理職教育(経営・組織運営、労働関連法、人権、ハラスメントほか)の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.管理職の教育制度を構築する 2.計画的な研修制度を整備し、定期的な研修を実施する		
		c.職員教育体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.職業人として必要な諸制度(労働基準法、労働安全衛生法、人権、ハラスメント他)についての教育方法について検討し制度化する 2.職種別の教育方法について検討し制度化する		
		d.機能強化・安定運営等に必要な研修受講・資格取得の推進	⇒	⇒	⇒		1.部門長・部署長による研修参加の奨励 2.適切な研究研修費の割り当てを行う 3.各部門・部署独自の研修体制の構築	1.各種資格取得の推進 ・認定特定行為業務従事者 ・介護支援専門員 ・看護実習指導者 ・医療安全管理者 ・アセッサー 2.各種研修受講 ・認知症介護実践研修 ・権利擁護研修会 ・外国人技能実習制度、各種講習
	⑤研修生、実習生の受入れ体制の整備	a.実習担当者の育成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.石見高等看護学院等実習生の指導者を計画的に養成する		
		b.研修生、実習生の受入れの促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.魅力ある実習環境の整備ためソフト面での充実を行う		
	⑥医学生・看護学生への就学支援	a.奨学金制度の活用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.修学資金貸付対象者等、制度運用の見直しを検討する		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)	
			02	03	04				
						2.ホームページ・求人ちらし等において PR に努める 3.近隣高校を通じた PR 活動を行う			
		b.石見高等看護学院との連携強化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き定期的な人事交流と必要な非常勤講師の確保に努める 2.意見交換会の実施			
8-2 働きやすい職場 環境づくり	①常勤医師の負担軽減	a.常勤医のニーズの把握し問題点の把握や課題を洗い出す	⇒	⇒	⇒		1.医師の働き方改革への対応(2024年) 2.常勤医師ニーズ等調査を実施する 3.精神面のフォロー体制(医師同士が支え合える医局を作る)の構築について検討する 4.医局会・モーニングカンファレンス等への参加について徹底する		
		b.課題への対応策検討、実施する	⇒	⇒	⇒		1.勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化を図る		
		c.常勤医の休日・夜間の支援体制の整備	⇒	⇒	⇒		1.休日・夜間の支援体制の充実について検討する 2.併せて休日・平日当直についての協力要請を行う		
		d.タスクシフト・タスクシェアの推進	⇒	⇒	⇒		1.ワンチーム(多職種連携)での取り組み強化 2.多職種の病棟配置の調査・検討		
	②職員が安心・安全・健全に働ける健康経営の推進	a.ハラスメント対策・体制の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.ハラスメント(パワハラ・セクハラ・マタハラ等)防止について管理職・職員への周知徹底 2.ハラスメント行為に対する処分方針を明確にする 3.広く職員の声を拾い上げる仕組み(意見聴取方法や体制)について検討を行う			
		b.職員の健康保持・増進活動の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.健康経営宣言に基づき、職員の健康管理活動(健診結果のフォローや禁煙サポート等)や余暇時間を利用した健康づくり活動(リハ機器の時間外利用・運動教室等)を推進する 2.心の健康づくり活動(ストレスチェック、カウンセリング、職場復帰プログラム等)を推進する			
		c.福利厚生活動の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.福利厚生制度の検証と見直しについて検討する 2.福利厚生活動について職員への周知を図る			
		d.安心・安全・健全職場環境づくりの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.衛生委員会等の活動を通じて、継続して職場環境の保持・改善を目指す 2.双葉会事業等を通じ部署内外の人間関係構築を支援する 3.職員への情報発信に努める			
		③女性が活躍できる職場環境づくりの推進	a.仕事と育児・介護の両立を支援する環境の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.育児・介護関連休暇制度が取りやすい環境づくりを行う		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)	
			02	03	04				
		b.職員保育所の安定運営	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.利用しやすさを考慮した保育所運営ルールの改善を行う			
		c.ワークライフバランスの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外・休日労働の削減、有給休暇の取得促進(計画付与)などの徹底を図る			
		④多様な働き方に対応できる雇用制度の検討・整備	a.限定正職員(夜勤のできない看護職)、短時間正職員(フルタイムで働けない職員)等の雇用制度を検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.働き続けられる制度の整備について検討する 2.給与条件等必要な制度設計について検討する		
		b.定年退職の延長、再雇用制度の見直し検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.定年時期の延長について検討する 2.再雇用制度について検討する(再雇用期間や再雇用条件等)			
8-3 労働意欲の向上につながる人事、給与制度の検討	①人事・給与制度の全般的見直し	a.人事・給与制度の全体的な分析・検証・見直しを実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.分析結果に基づき給与制度を改定する 2.円滑に新たな給与制度の導入を行う			
	②人事異動方針に基づく適正な人事異動の実施と評価	a.人事異動方針に基づく人事異動の適宜実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.管理職の人事異動および役職登用に係る協議体の設置を行う 2.新たな役職の設置を検討する			
	③人事考課制度の見直し	a.人事考課制度の検証・見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.外部コンサルタントにより効果的な人事考課制度への見直しを検討する 2.公正な評価のための考課者教育の実施			
8-4 島根県立石見高等看護学院の管理・運営	①島根県との緊密な連携	a.適切な情報交換と意見交換の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.定期意見交換会(運営方針、事業計画、課題等)の実施 2.県と連携して共に各種業務を実施 3.教員との意見交換 4.副学院長(教務)任用の具体的協議 5.文科省「新たな学習支援制度」の継続申請(認定継続)			
	②魅力ある教育カリキュラムの構築	a.2022年カリキュラム改正の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.教職員、講師等のカリキュラム改正(教育内容)の理解促進及びカリキュラム改正の作業 2.地域と連携した魅力ある基礎看護教育活動のあり方検討及び具体的な取組の検討 3.地域での実習教育のあり方検討及び実習施設等との調整 4.学生に分かりやすいシラバスの検討・作成 5.カリキュラム改正による予算・経費の見直し、関係機関との調整			
	③入学定員の確保	a.看護師国家試験高合格率の維持	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学年教育計画の立案 2.国試の高合格率維持に向けた取り組みの充実			
		b.広報活動の展開	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.ホームページの充実・ブログの更新			

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
						2.小中高校生と継続的・段階的な交流推進 3.マスコミを活用した広報活動の推進		
		c.学生募集活動の促進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.オープンキャンパス・見学会の充実 2.ガイダンスへの積極的参加 3.県内の高校訪問の実施 4.市町村(公立病院含む)との連携推進		
		d.更なる魅力アップの検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.各種評価・アンケートの実施、検証 2.協同学習の定義と発展 3.魅力ある入学試験のあり方検討の継続実		
		e.4年制大学(養成所の4年制化を含む)の調査・検討	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.情報の収集 2.島根県立大学との連携 3.要望活動等の対応		
	④必要な看護教員・講師の確保	a.関係機関との連携協働による看護教員の育成・確保	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.益田医師会病院との連携・協働 2.県立中央病院・益田赤十字病院・松ヶ丘病院との人事交流検討 3.看護教員適任者の計画的育成の検討 4.看護教員資格取得への支援		
		b.講師の負担軽減策の検討と実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.講師確保のため、関係機関との意見交換実施 2.講師要望等の把握、要望対応の実施 3.カリキュラム改正に伴う講師担当教科目の調整・再編 4.円滑な遠隔授業実施のため、安定した通信環境・実施体制の確保		
	⑤看護教員の教授力の向上	a.研修機会の増と、効果的な研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.島根県教員継続研修の受講推進 2.教員指導力向上対策(研修会等)の実施 3.各種教員研修への参加支援		
		b.臨床現場研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.短期臨床研修の実施 2.長期臨床研修の実施		
		c.自己研鑽への支援とモチベーションの向上推進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.キャリア別達成目標の運用・実施 2.自己研鑽支援休暇制度の活用促進		
		d.学会等への積極的参加	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学会活動の支援 2.教員研究の促進		
	⑥学院環境の整備	a.学び舎として快適環境の整備	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学生美化意識の高揚及び美化活動の推進 2.植栽等の適正管理の継続・維持 3.危機管理マニュアル作成・運用 4.継続的な新型コロナウイルス感染症の感染防止対策		

令和3年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			02	03	04			
		b.常時点検による適切な整備の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.施設・備品設備のチェック(毎年度確認) 2.備品(教育備品を含む)の計画的更新計画の策定		
	⑦地域への貢献	a.卒業生の県内就業率の向上	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.県内病院と学生の交流事業の実施 2.卒業生のホームカミングフェスの実施 3.市町村(公立病院含む)との連携推進(②C4再掲)		
		b.地域貢献策の検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学生のボランティア活動参加の促進 2.学院イベントへの住民参加の促進 3.地域の看護師との合同研修会の企画・運営 4.体育館等、学院施設の地域への貸出		
9 計画に基づく必要な施設等の整備充実			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	02	03	04	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
9-1 医療センターの新たな施設整備	①医師会施設の計画的整備	a.施設・設備の修繕・整備等計画書作成と実施	⇒	⇒	⇒	1.単年度予算計上のための建築設備工事計画の作成と実施		
		b.施設管理システムや体制の検討	⇒	⇒	⇒	1.電子マニフェストの導入と運用 2.空調システム運用のPDCA管理の実施		
	②省エネ、CO2削減対策	a.省エネ新技術の導入促進	⇒	⇒	⇒	1.補助金活用に向けた情報収集の実施		
	③環境の美化	a.総合的な環境美化対策の推進	⇒	⇒	⇒	1.委託業者との契約の見直し 2.OB会と連携し継続的に活動する		
	④交流の場の整備	a.交流の場の設置の検討	⇒	⇒	⇒	1.病棟再編計画での検討を視野に入れる		
9-2 施設設備の老朽化への対応	①昭和61年建設病院本館棟の建て替え準備	a.本館棟建替資金の計画的積み立て	⇒	⇒	⇒		1.計画期間(平成24年度から令和29年度)において、収支相償上の積立限度額の範囲内で積み立てを行う	
	②介護施設整備を実行	a.益田市事業の検討と要望	⇒	⇒	⇒			1.緊急性・重要性を検討し、運営協議会において要望する
	③地域包括支援センター中部圏域の移設	a.移設後の体制を検討	⇒	⇒	⇒	1.令和4年春の中部移設に向け、改修工事及び体制について益田市と協議を進める 2.中部移設後に併せ、東部包括支援センターの体制・設置場所等について再検討を行う		